



ラフレイス

～笑顔あふれる場所～

中学生版

2023年 4. 5月号

南島原市深江図書館

☎ 0957-73-6717



ご入学・ご進級おめでとうございます！

四月 新年度に入り、新鮮な気持ちで学校生活をスタートさせたことでしょう。

まずは、この図書館だより『ラフレイス』の紹介を・・・英語の laugh (ラフ・笑う)と、place(プレイス・ばしょ)を、一つの言葉にした、『笑顔あふれる場所』という意味です。毎週金曜日には午後 1 時から、深江中学校の図書室へお手伝いに行きますので、このお便りだけでなく、みなさんとの交流で、笑顔あふれる図書室にしたいと思っています。

さて、今回は絵本を新しく入った本と共に紹介しました。中学生になっても、たまには絵本を手にとってみませんか！？ 絵本には、読み手の年代を問わず、心を豊かにする力があります。小説など読む時間がない時やストレスを感じる時に、ぜひ絵本のページを開いてみてください。

*** たまには絵本タイム ***

「二番目の悪者」

林 木林／作



「L i f e」

くすのき しげのり／作

「あるへラジカのお話」

星野 道夫／原案



「もしものせかい」

ヨシタケ シンスケ／著

「街どろぼう」

junaida／著



*** 新しく入った本 ***

- ・「魔導具の修理屋始めました 2」藤浪 保／著
- ・「神さま学校の落ちこぼれ 2」日向 夏／著
- ・「雲雀坂の魔法使い」沖田 円／著
- ・「春夏秋冬代行者」暁 佳奈／著
- ・「島原・天草一揆」小西 聖一／著
- ・「ノーゲーム・ノーライフ 12」榎宮 祐／著



*** ちょこっと雑学 ***



春はおめでたい行事が多いような、そのようなお祝いの席に合う料理といえば、お寿司。いなりずし、まきずし、ちらしずし、何ととってもにぎりずし！おいしいですね～。さて、そのお寿司ですが、平安時代には、まるで「つけ物」のようだったそう。魚介類やお肉をご飯の中に入れ、自然発酵させたつけ物のような食べ物だったそうです。ご飯がぬか床の役割を果たし、長いと数年間も漬け込むのだそうです。強烈な臭いを放つご飯は捨てて、漬かっている魚介類や肉だけを食べたのだとか。江戸中期になると、作ってから早く食べたいと、箱の中に、ご飯・酢・塩を入れ魚介類をのせ、上から重しをして食べるようになったのが、現代の「押しずし」の原型です。そして、せっかちな江戸っ子が手軽に食べられるよう握りずしが屋台で大繁盛したそうです。江戸時代のファストフードですね！ 「テーマで歴史探検」河合 敦／著より



*** 4、5月の休館日のお知らせ ***

◆ 4月 3,10,17,24 (月) と 27 日の図書整理日

◆ 5月 1,8,15,22,29 (月) と 25 日の図書整理日